

(公社)生体制御学会 平成27年度事業報告

A. 会務を円滑に運営するために次の会議を行った

1. 総会

平成27年 6月7日(日) 午前9時～午前9時50分

(名古屋市立大学医学部研究棟11階 講義室B)

2. 理事会

平成27年 4月4日(土) 午後5時～午後7時(東洋医学研究所®)

平成27年 6月7日(日) 午後5時～午後7時(東洋医学研究所®)

平成27年12月12日(土) 午後5時～午後7時(東洋医学研究所®)

平成28年 3月6日(日) 午後5時～午後7時(東洋医学研究所®)

3. 評議員会

平成27年11月22日(日) 午後4時～午後7時(ルブラ王山)

平成28年 3月13日(日) 午前10時～正午

(名古屋市立大学医学部本部棟2F 第1会議室)

4. 管理部門会議

平成28年2月6日(土) 午後6時～午後8時(東洋医学研究所®)

5. 事業部門会議

平成28年2月13日(土) 午後6時～午後8時(東洋医学研究所®)

6. (公社)生体制御学会鍼灸医学協会連絡委員会

平成28年2月28日(日) 午前11時～午後1時(ルブラ王山)

B. 目的を遂行するために次の事業を行った

1. 研究活動

イ. 各研究班活動

各研究班が月1回研究日を設けて研究活動を行った(別紙1 P1～P13)

①疼痛疾患班

②循環器疾患班

③不定愁訴班

④生活習慣病班

⑤情報・評価班

⑥生体防御免疫疾患班

⑦古典文献(鍼灸)研究班

ロ. 研究班班長会

日時：毎月第3木曜日 午後8時30分～午後10時

場所：東洋医学研究所

内容：各班の研究活動報告及び計画

情報交換

研究における問題点の検討

研究班長勉強会

実施日

平成27年6月18日（木）各研究班活動報告

7月16日（木）石神龍代 「最新の睡眠医学」

8月6日（木）第33回（公社）生体制御学会学術集会発表練習

8月20日（木）第33回（公社）生体制御学会学術集会発表練習

8月30日（日）第33回（公社）生体制御学会学術集会に協力

9月17日（木）研究班長会 各研究班活動報告

10月15日（木）研究班長会 各研究班活動報告

「腰部に対する筋硬度計を使用した文献について」 河瀬美之

10月22日（木）第14回東洋療法推進大会 in 愛知 発表練習

11月5日（木）第33回（公社）全日本鍼灸学会中部支部学術集会発表練習

11月19日（木）研究班長会 各研究班活動報告

平成28年2月18日（木）研究班長会 各研究班来年度研究計画について

3月17日（木）研究班長会 各研究班来年度研究計画について

2. 第33回（公社）生体制御学会学術集会の開催

日時：平成27年8月30日（日）午前9時30分～午後4時40分

場所：名古屋市立大学医学部総合情報センター川澄分館（図書館）3階さくら講堂

内容

教育講演（公社）全日本鍼灸学会認定指定研修C講座

「めまいと自律神経」

講師：名古屋市立大学医学部耳鼻咽喉科准教授

睡眠医療センター

部長 中山 明峰

司会：公益社団法人 生体制御学会

会長 皆川 宗徳

特別講演 市民公開講座・（公社）全日本鍼灸学会認定指定研修C講座

「心拍のゆらぎからみえるストレスと健康」

講師：名古屋市立大学大学院医学研究科医学・医療教育学分野

教授 早野順一郎

司会：元名古屋市立大学長

第33回公益社団法人 生体制御学会

学術集会長 西野 仁雄

一般口演

1. 鍼灸院における新患患者の実態調査(3)
— 国民生活基礎調査有訴者率との比較— 赤石 望
2. 気象の変化と不定愁訴について
— 予備研究としての健康チェック表の分析— 各務壽紀
角村幸治
3. 気象の変化と不定愁訴について
4. 鍼刺激がヒト大脳皮質酸素化ヘモグロビン変化量に及ぼす影響
— 合谷穴・太衝穴について— 晝河侑成
木津正義
5. 不妊症患者における EPDS と身体症状の関連について
6. 心拍変動解析による鍼刺激に対する自律神経反応の評価
— 鍼刺激による持続効果の検討(3) — 山田 篤
岩瀬千尋
7. 長周期呼吸によるリラクゼーション効果
8. 床上と座位での排便を想定した怒責の加えやすさと安全性に関する比較
今井美香
岩瀬 敏
白木基之
9. 精神性発汗・血管収縮の機序とその評価
10. 高反発クッショングリップは手指の拘縮を速やかに改善する

3. 第 14 回東洋療法推進大会 in 愛知に参加

日 程：平成 27 年 10 月 25 日（日）～26 日（月）

場 所：ホテルメルパルク名古屋

一般口演

1. アレルギー性鼻炎に対する鍼治療の一症例 岩間敏彰

4. 第 33 回(公社)全日本鍼灸学会中部支部学術集会に参加

日 時：平成 27 年 11 月 8 日（日） 午前 11 時～午後 5 時

場 所：愛鉄連厚生年金会館

一般口演

1. 気象の変化と不定愁訴について
— 予備研究としての健康チェック表の分析— 各務壽紀
2. 気象の変化と不定愁訴について 角村幸治
3. 心拍変動解析による鍼刺激に対する自律神経反応の評価
— 鍼刺激による持続効果の検討（3）— 山田 篤

5. 学術研修会の開催（資料 P9～P14）

6. 生涯教育制度・愛知県鍼灸生涯研修会の実施（資料 P15）

7. (公社)全日本鍼灸学会認定指定研修 C 講座受講者名簿（資料 P16～P17）

8. 学会誌の発行および準備

イ. 生体制御学会誌の発行

生体制御学会誌第 30 号を平成 27 年 6 月に発行した

ロ. 生体制御学会誌の発行準備

生体制御学会誌第 31 号の編集準備作業を行った

9. 広報活動

第 275 回から第 279 回までの定例講習会・愛知県鍼灸生涯研修会の予定を医道の日本社編集部、医学書院 WEB 版医学界新聞に掲載依頼した

10. (公社)生体制御学会活動内容を整理保管した

イ. (公社)生体制御学会会員の業績を整理保管した

ロ. 第 33 回(公社)生体制御学会学術集会をアルバムに整理保管した

11. 会員相互の連絡と組織の拡充 (資料 P18)

イ. 組織部会を 3 回開催し、組織部の活動について協議した

ロ. 会員の拡充に努力し、学会の啓発を図った

ハ. 当学会事務所との連絡を密にして、会員の入会と退会及び住所変更等の把握に努力した

12. 学術集会において鍼灸学校の学生に対しアンケートを実施した

13. 女子会員の交流を推進し、女子部の拡充を図る (資料 P19)

イ. 女子部懇親会を開催し、今後の女子部の活動について話し合うとともに親睦を深めた

ロ. 生体制御学会の女子会員と愛知県鍼灸マッサージ師会の女子会員に、定例講習会での鍼灸学校学生向け企画の案内を発送した

14. 学会啓発活動

平成 28 年 2 月 29 日 (月)

中和医療専門学校卒業生に対し、(公社)生体制御学会の紹介資料並びに入会案内を持参し配布して頂いた

平成 28 年 3 月 10 日 (木)

学校法人専門学校名古屋鍼灸学校の卒業生並びに在校生に対し、(公社)生体制御学会で行っている研究に関する講演と、当学会の紹介資料を配布して入会案内を行う

平成 28 年 3 月 13 日 (日)

名古屋医健スポーツ専門学校に、(公社)生体制御学会の紹介資料並びに入会案内をお渡して卒業生に配布して頂いた

平成 28 年 3 月 17 日 (木)

トライデントスポーツ医療看護専門学校に、(公社)生体制御学会の紹介資料並びに入会案内をお渡して卒業生に配布して頂いた